

IR DAY 2026 質疑応答議事録

＜「利は川下にあり」の真髄 (2) データ起点の価値創造＞

日 時：2026 年 7 月 8 日（水） 16:25 ～ 16:55

登壇者：野田情報・金融カンパニープレジデント、細見第 8 カンパニープレジデント

司 会：原田 IR 部長

用 語：FM＝ファミリーマート

Q：第 8 カンパニーの今後の戦略について。「デジタル」を中心として、FM に加えて他カンパニーとも連携してビジネスを伸ばすとの方針か。他戦略があれば教えて欲しい。またあくまで FM を基軸とした成長戦略を描くことになるのか。

A：（回答者：細見第 8 カンパニープレジデント）FM は食という分野だけではなく、リアルとデジタルのインフラを有しているとともに、上代での「展示販売」という重要な機能を果たしている。加クシュタールがセブン&アイ社の買収を検討した事例にもある通り、日本の小売がコンビニというシステムによって一つの「面」になり、その結果、海外資本が日本の小売インフラに容易に参入ができる状態となってしまった。コンビニは食における最後のリアルなインフラであるのみならず、例えば徴税のインフラでもあり、煙草税、自動車税等、FM だけでも年間 5 兆円以上の税金を収受している。今後はこのようなインフラ機能を横展開することで、事業拡大・多角化を図っていく考え。第 8 としては、必ずしも FM のみを基軸としているわけではなく、「データ」と「メディア」を基本とした戦略構築を進めている。データ・ワンでのデータは FM から取得されるデータに加え、FM 以外から取得するデータも全体の半分程度を占める。これらの「データインフラ」と FM の「店舗インフラ」をどのような形で活用していけるか検討しているところ。

以上